

京都・西陣 川島織物セルコン
ファッションデザイナーロク・ファン、フリッツ・ハンセンとのコラボチェア
高級セレクトショップ RESTIR で展示

rokh x 川島織物による世界にひとつだけのチェア
Special Exhibition at RESTIR
2021/1/12～2/14 RESTIR BOUTIQUE 2F



株式会社川島織物セルコン（本社：京都市左京区 社長：木村弘一）と、ファッションデザイナーロク・ファン氏のコラボレーションで製作した椅子が、ラグジュアリーセレクトショップ RESTIR で 2021 年 1 月 12 日から展示されます。

この椅子は、織物の未来と 100 年後の川島織物セルコンを考える活動のひとつとして、ファッションデザイナーにファブリックのデザインを依頼し、北欧家具メーカー フリッツ・ハンセン（FRITZ HANSEN）の代表作エッグチェアに張り込んだ「織物屋の試み展」で製作したものです。

2020 年 11 月に開催した「織物屋の試み展 其の二」では、デザイナーの一人にロク・ファン氏を起用。モダンで温かみがあるデザインを生み出すと評されるロク・ファン氏が導きだした「自然と本能～森を織る

～』というコンセプトの元に、新しい織物の可能性を追求した、織物の未来を予見するファブリックを製作しました。

RESTIR では、ロク・ファン氏の手掛けるブランド rokh の春夏コレクションと同時に展示されます。ロク・ファン氏の世界を是非お楽しみ下さい。

**rokh x 川島織物による世界にひとつだけのチェア
Special Exhibition at RESTIR**

日時：2021 年 1 月 12 日(火)～2 月 14 日(日)

11:00 - 20:00

場所：RESTIR BOUTIQUE 2F

(東京都港区赤坂 9 丁目 6-17)

織物屋の試み展特設サイト：

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/event/kokoromi2020/>

このインフォメーションに関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン マーケティング部広報グループ 有賀・松本
TEL：075-741-4316 MAIL：kouho@kawashimaselkon.co.jp

ロク・ファン/ rokh

(<https://www.rokh.net/>)

自然と本能 ～森を織る～

綴織

「有機的な自然の世界そのものをファブリックで表現する」というロク氏の意図の実現に辿り着くためには、ファブリックに対する新しい価値観が必要でした。通常、平面で美しさを表現していく綴織という手法を、立体的に再構築していくため、何度も試行錯誤を繰り返していきました。また、自然への敬意の表現には、サステナブルという概念に基づきカーテン生地生産時に生じる端材などをはじめ、これまで使わなかった素材も選りすぐって使用しました。

「日々の喧騒から離れ、静寂さや穏やかさを慈しむ、自然の中にある心地よさ」そのものを生み出す、という難題に挑戦したファブリックは、見た目からだけでなく、椅子自体がまるで森の木々や苔そのものような触り心地に完成しました。フカフカの質感もみどころです。



使用織機 : 緞帳用大機

プロジェクトムービー : Rok Hwang 「森を織る / Comfort」 (1分28秒)

https://youtu.be/fUQI6_mUvR8

ロク・ファン (Rok Hwang)

セントラル・セント・マーチンズを卒業後、フィービー・ファイロ (Phoebe Philo) のもと「セリーヌ (CELINE)」でデザイナーとして経験を積み、2016年に自身のブランド「ロク」を設立。2018年にはLVMHプライズの特別賞を受賞し、2019年秋冬シーズンにパリファッションウィークの公式スケジュールで初のランウェイショーを開催。



デザイナーコメント

この川島織物とのプロジェクトで織物の伝統技術とはどういうものか、ということのを深いところで理解することができたし、その技術によってコンセプトが違ったレベルにまで高められていく過程にとっても興奮を覚えました。川島織物の技術の達成力は素晴らしく、織物自体にアートや他のコンテクストを表現していくことは100%可能だと確信していました。そして実際、2Dの織物を3Dに進化させるということに成功し、同時に織物における「触覚」ということにも新しい境地を開いたと思います。このプロジェクトによって、アートの形だけではなく、優れた職人、デザイナー、取り巻く人々、カスタマーなどが同じ感覚を共有する、といったことが実現できたと思っています。

RESTIR (リステア)

2000年設立、マルチブランド・リテールのパイオニアとなるという強い目的のもと、「リステア」はスタート。ラグジュアリーブランドを始め、ストリートから新進ブランドまでを世界中から独自のセレクトで編集。2007年に行ったシャネルとのコラボレーション「CHANEL FOR RESTIR」を筆頭に、様々なブランドとのコラボレーションを行い新たなトレンドやコースを常に発信し続けている。日本のエンターテインメント・カルチャーの発信地である東京・六本木に存在するRESTIR BOUTIQUE は、巨大なブラック・コンテナをイメージした異質な外観と、各フロアごとに異なる世界観を持った内装により、他では体験できないショッピングができるお店として訪れた人を魅了している。

川島織物セルコン

天保14（1843）年創業の織物メーカー。呉服悉皆業からスタートし、明治期に室内装飾織物（インテリア業）にも進出。現在は帯・緞帳・祭礼幕などの伝統的な織物から、カーテン・カーペット・インテリア小物までをトータルに手掛ける。伝統技術と先端技術を合わせ持つことが大きな特徴で、日本の織物のパイオニアとして時代をリードし続けてきた。

社 名：株式会社川島織物セルコン

所 在 地：京都市左京区静海市原町265

創 業：天保14年（1843年）

事業内容：身装・美術工芸事業 緞帳、祭礼幕、和装小物などの製造販売

インテリア事業 カーテン、壁装、床材、インテリア小物などの製造販売、室内装飾工事

織物屋の試み展 / Weaver's Quest

織物の未来と100年後の川島織物セルコンを考える活動のひとつとして、ファッションデザイナーが今までにない発想でデザインした生地を当社で制作、その織物を北欧家具メーカー フリッツ・ハンセン（Fritz Hansen）の代表作エッグチェアに張り込むという企画。昨年開催した初回は、青木明子（AKIKO AOKI）・井野将之（doublet）・堀内太郎（TARO HORIUCHI）の三氏にデザインを依頼。2019年3月開催。

（ <https://www.kawashimaselkon.co.jp/event/kokoromi2019/> ）